



Topics

- ・さかい男女共同参画ネットワークと
意見交換会をしました ……14
- ・表紙写真を募集しています ……15
etc



総務常任委員会報告

主な質疑内容

陳情

総務部

問 社会福祉や教育委員会の表彰は行っているが、自治功労などを含めた市政表彰はできないか。

答 他の市では市政功労の表彰を毎年1回定期的に行っている。本市では一度も市政功労の表彰を行っていないので、今後継続して実施していくことを考えると、慎重に検討していく必要がある。

問 区長が、災害時の安否確認や要支援者の把握のため、区民の名簿の提供を求めることは可能か。

答 災害時の利用が目的であれば、住民基本台帳の閲覧は可能である。また「避難行動要支援者名簿」を社会福祉課で作成し、毎年民生委員や区長に提供しているが、今後見直しを予定している。

財務部

問 コロナの影響による国民健康保険税の減免の適用状況は。

答 令和4年9月現在で6件、令和3年度は27件で減免を実施している。減少した要因は、コロナの状況が4年を経過し、市民税の税収も横ばいの状態なので、収入の減額が落ち着いたものと考えられる。

総合政策部

問 電子申請にどのように取り組んでいるのか。

答 現在、県と県内市町で共同利用している電子申請システムにより、水道の開閉栓を始めとしたいくつかの手続きができる。今後も電子申請のできる手続きを拡大していきたい。

陳情第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択
-------	-------------------------	----

<主な意見>

○少子高齢化などいろいろな問題を抱えている中で、地方財政の充実が重要な事項であり、地方財政の重要性を直接政府、国会に伝えるべきである。

○コロナ禍対策で行っている固定資産税の軽減措置が令和4年度をもって終了することについて、軽減措置が終了すれば個人にとって負担になるため、その記載を除いての採択を求める。

☆発議第5号にて陳情をもとに意見書を提出。

陳情第6号	飲酒運転根絶に関する決議要望書	採択
-------	-----------------	----

※意見陳述者を招致し説明を受け審査

<主な意見>

○飲酒運転は犯罪であり、飲酒運転を根絶して交通事故のない社会を目指すためにも決議は必要である。

☆発議第6号にて陳情をもとに決議。



▲委員会の管内視察の様子(利活用事業者を募集した「旧大木道具店土蔵」三國町(9月28日))

定例会審議結果

★9月定例会に提出された議案と議決結果

○…賛成 ×…反対 □…棄権 △…欠席 ……原則採決に参加できない

議案番号	件名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
			林	佐藤	廣瀬	鍋嶋	伊藤	岡部	山田	三宅	後藤	渡辺	前川	上坂	戸板	古屋	田中	佐藤	松本	伊藤	辻	川畑	前田	永井	畑野	広瀬	
			豊	岳	陽	邦	宏	恭	秀	小	寿	竜	健	進	信	哲	寛	聖	人	孝	嘉	純	美	潤			
諮問第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案答申	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	愛宕団地5号棟新築工事(建築)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	愛宕団地5号棟新築工事(機械)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	坂井市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和4年度坂井市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○
議案第40号	令和4年度坂井市一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書採択について	採択	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
陳情第6号	飲酒運転根絶に関する決議要望書	採択	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
発議第6号	飲酒運転根絶に関する決議について	可決	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和4年度 一般会計9月補正予算概要

補正額 **11億9,776万円** (補正後の額 427億5,550万円)

主な事業

◆飼料価格高騰緊急対策事業 3,972万円

畜産農家に対する飼料購入の支援に係る経費の計上。

◆地域担い手づくり整備事業 3,877万円

作付けに不利な中山間地での営農担い手が減少する中、集落営農組織の強化・維持活動への支援に係る補助金の増額。

◆企業立地促進事業 1億5,786万円

市内で一定規模の工場等を新增設した企業、および新たな雇用を創出した企業に対する助成金の増額。

◆予防接種事業 4億6,510万円

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について、4回目接種およびオミクロン株対応ワクチン接種に備えた体制の整備・構築に係る経費の増額。

◆社会福祉総務事業 2億9,620万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰による家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対する給付金の増額。

◆みくに龍翔館管理運営事業 175万円

令和5年春のリニューアルオープンに向けた、レジシステムの導入およびミュージアムショップの運営委託に係る経費の増額。

産業建設常任委員会報告

主な質疑内容

産業政策部

- 問 8月の豪雨や台風による農業関係への被害は。
- 答 8月の豪雨では、九頭竜川鳴鹿土地改良区の右岸用水取水口の除塵機が被災し、送水機能が停止した。9月の台風ではハウスの一部が被害に遭い、丘陵地や砂丘地ではナシやニンジンなどの被害が発生した。
- 問 移転計画が進んでいる、今後の一筆啓上茶屋やそば屋の管理・運営は。
- 答 一筆啓上茶屋は指定管理者による管理運営およびテナントを公募する。そば屋もテナントの公募を行い、運営者を選択していく考えである。
- 問 三国花火大会の総括と今後の考え方は。
- 答 第40回記念大会は3年ぶりの開催となり、新型コロナウイルス感染症対策で制限をしておいた大会となった。入込数は約16万5千人で事故もなく無事終了できた。次大会については、今大会の運営方法を踏襲し、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、永続的に開催できるよう関係機関と協議していく。
- 問 三国港朝市の概況は。
- 答 毎週日曜日の午前7時30分より、水産物や地元特産品の販売、甘えびなどの海鮮汁を提供する食堂や、購入した水産物を炭火焼きにできるブースを設けている。また、三国港市場から東尋坊まで、遊覧船の航行などを交えながら誘客向上に努めている。

建設部

- 問 8月の豪雨や台風による道路、河川などにおける被害は。
- 答 市道の冠水による、一時的な通行止め箇所は19カ所で、一部の河川で溢水や越水があったが、重大な被害はなかった。
- 問 市道沖布目森田線道路改良事業の進捗状況は。
- 答 磯部川橋梁下部工事は令和5年3月の完成を目指している。また、県道板倉高江線との交差点付近の物件移転や用地取得については、関係者との協議を進めている。
- 問 県道福井森田丸岡線工事の現状と今後の計画は。
- 答 8月末の用地取得は約26%で、令和4年度末で約60%になる見込みである。令和5年度以降は、市道末政随応寺線から、福井港丸岡インター連絡道路までの用地買収と県道板倉高江線から、市道末政随応寺線までの埋蔵文化財の本調査を実施し、市道付替え道路から工事を進める計画である。



▲ 建設中の北陸新幹線軌道敷見学の様子（9月9日）

教育民生常任委員会報告

主な質疑内容

三国病院

- 問 コロナ病床設置による一般病床の変更状況は。
- 答 4階病棟が55床から39床に変更となり、地域包括ケア病床は43床から27床に変更となった。
- 問 医師、助産師の現状は。
- 答 常勤医師が12名在籍しており、福井大学から非常勤医師が2～3名来ている。助産師は正職員3名と会計年度任用職員7名の体制だが、医師・助産師ともに慢性的に不足している。

教育委員会

- 問 デジタル教科書の取り組み状況は。
- 答 文部科学省の学習デジタル教科書普及促進事業により、市内すべての小学校5・6年生と中学校の生徒に対して英語のデジタル教科書が配布されており、それ以外に各学校が希望する1教科のデジタル教科書が配布されている。
- 問 給食の異物混入防止の対応は。
- 答 教室で配膳中にトングのバネが外れ、そのバネが混入したことから、安全なトングに入れ替え、今一度、混入防止マニュアルを周知徹底した。

生活環境部

- 問 特定検診の受診状況は。
- 答 新型コロナウイルス感染症の影響により、国民健康保険加入者の特定検診受診者が減少した。令和元年度は34.5%であったが、令和2年度は集団検診を中止したため14.1%となり、令和3年度は27.4%となった。

- 問 マイナンバーカードを利用して、LINEで各種申請ができるサービスの導入予定は。

答 他市では富山県魚津市など6自治体が先行導入しており、さらに東京都町田市など77自治体が導入予定と聞いている。

本市においては、現在、市の公式LINEアカウントの活用に向けて取り組んでいるところであり、今後、選択肢の一つとして検討したい。

健康福祉部

- 問 令和3年度の児童虐待の状況は。
- 答 子ども福祉課が受理したものは32件で、そのうち身体的虐待が9件、心理的虐待が20件、*ネグレクトが3件あった。虐待者の9割が実父または実母であった。要保護児童対策地域協議会で情報連携して対応している。
- 問 通園バスの置き去り防止対策は。
- 答 市内でバスを運行している保育園は5園あるが、必ず運転手と補助員の2名で実施している。乗車名簿での確認、降車後には運転手による車内の点検、補助員が担任保育士に園児を引き渡したあとは保育室での健康観察などで出欠確認を行っている。



▲ 委員会の管内視察の様子(フリースペース「こむふく」春江町) (9月27日)

*ネグレクト…幼児・児童・高齢者・障がい者などに対し、その保護、世話、養育、介護などを怠り、放任する行為のこと。

問 フランスでの北前船フォーラムに敦賀市が参加するなど機運が高まってきたが、本市の動きは、

答 三国湊は歴史的、文化的にも重

日本遺産活用による海外PRは

問 丸岡藩砲台跡を整備し、丸岡城と東尋坊の観光往来を図っては、

答 周遊観光の拠点の一つとして位置づけ、魅力の創出に努める。

問 危険箇所が立入禁止のまま長期開放状態となっているが、整備の予定は、

答 環境省や県に対して、改修整備への支援拡充や、大規模改修の実施に係る要望を継続していく。

国定公園遊歩道の整備を

問 本市には空き地条例がない。

答 地権者の管理義務を周知し、粘り強く対応していく。

問 市民の生活や通行に支障をきたす、放置された土地への対応は、

答 市長命令や行政執行を可能とする条例が必要では。

問 先行自治体の例を参考に調査研究を進めていく。

管理されていない土地の問題は



▲危険箇所となっている遊歩道(越前加賀海岸国定公園)

問 県内の寄港地を有する市町との連携は、

答 北前船日本遺産推進協議会では、県内含む北陸ブロックで相互に連携PRを行っており、今後も構成市町と連携しながら効果的に情報発信をしたい。

問 要観光地であり、インバウンド向けの魅力的な町並みが残っている。

答 コロナ禍により、今回のフォーラムへの参加は見送ったが、今後は積極的な参加を検討していく。



山田 秀樹

市政のここが知りたい!
一般質問

9月20日、21日の2日間にわたり、16人の議員による一般質問が行われました。ここではその要約を掲載しています。詳細については後日議会ホームページに掲載される会議録、YouTube(チャンネル名・福井県坂井市議会)をご覧ください。この文章は各議員が作成しています。

議員氏名	通告内容	ページ
辻 人志	(1) コロナ禍における高齢者の社会参加について (2) 市立学校の周年記念事業について	6
山田 秀樹	(1) インバウンドに向けた日本遺産活用について (2) 遊歩道や史跡の整備を (3) 管理不十分な空地や市街地の問題について	7
伊藤 聖一	(1) 新教育長の基本方針について	7
川畑 孝治	(1) 春江駅改修と丸岡駅名について (2) 災害廃棄物処理計画について (3) 少子化対策について	8
伊藤 宏実	(1) 豪雨による取水施設の損傷について (2) 機構改変による農業政策の充実について	8
鍋嶋 邦広	(1) 洪水・土砂ハザードマップを活用した本格的避難訓練の実施について (2) 坂井市キッチンカー等導入支援事業について (3) 今後の観光案内所運営体制及びあわら市との連携について	9
岡部 恭典	(1) 地域が行うコミュニティ活動の支援について (2) 春江保健センターの整備について	9
佐藤 岳之	(1) 坂井市に新都市整備を	10
上坂 健司	(1) 文化観光および地域経済戦略について	10

議員氏名	通告内容	ページ
廣瀬 陽子	(1) 森林資源の活用について	11
林 豊夏	(1) 教員の働き方改革について (2) 市公式LINEアカウントについて	11
後藤 寿和	(1) マイナナンバーカードの促進に向けて	12
畑野麻美子	(1) 休日部活・地域移行はできるところから (2) 子どもにやさしいまち、子育てするなら「坂井市」・子どもの権利を保障する「坂井市子ども条例」の制定を求める (3) 「みどりの食料システム戦略」における坂井市の取り組み状況と体制は	12
永井 純一	(1) 防災・減災について (2) 認知症対策について (3) パートナースHIP・ファミリーシップ制度の制定について	13
三宅小百合	(1) 坂井市の防災対策について	13
松本 朗	(1) 安倍元総理の国葬に反対を表明し、市民、児童・生徒に弔意の強制を行わないこと (2) 市長は、過去・現在において、いわゆる統一教会との関係はあったか (3) 坂井市の起業支援の抜本的強化を (4) 防災対策の強化-洪水対策、避難所対策	14

問 給食室の改修を行った上で、自校式給食を継続すると改めなければならぬ事態にあると思われるがどうか。

答 自校式の給食設備を更新する考

問 基本計画にある補修に、給食室そのものの改修を含んでいないように思え、大規模改修から給食室を除外したことにより、今日になつて問題が生じてきていると考える。

答 給食室の改修を行った上で、自校式給食を継続すると改めなければならぬ事態にあると思われるがどうか。

問 合併直後に学校給食の方向性が出されて10年以上が経過した。

答 丸岡地区小学校の自校式給食を、当面は継続することで決着したが、自校式給食室は学校の大規模改修の対象外とされ、一部学校では老朽化が一層進んでいる。

問 今後の児童数の推移も考慮した上で、丸岡地区の給食のあり方は、

答 第二次坂井市教育振興基本計画では、丸岡地区の自校式小学校については、施設設備および調理機器を有効活用し、必要に応じて補修を行いながら今後のあり方を検討するとなっている。

学校給食の再検討が必要ではないか



▲自校式給食室



▲春江坂井学校給食センター

えはなく、持ちこたえられるだけ持ちこたえたい。

また、今後の児童生徒数の推移を考えると、既存の給食センターで十分賄える状況も想定される。しかし、今後の給食のあり方については、早急に学校、PTA、地域の人の考えを踏まえ、あり方の検討をしていく思いである。



伊藤 聖一

問 本市において、向こう3年間で創立150周年を迎える学校は、

答 令和5年度に三国南・雄島・加戸・平章・高椋・磯部・春江・東十郷・大関・兵庫の10小学校が、令和7年度に三国北小学校が創立150周年を迎える。

問 そのうち7校が令和5年度に、2校が6年度に、残りの2校が7

学校創立記念事業への支援を

問 シニアクラブの活動継続に向けた支援策は、

答 市側から支援のメニューを示すのではなく、シニアクラブからの提案・要望を聞いて、その活動を応援していきたい。

問 高齢者のフレイル予防について、今後どのような対策を講じていくのか。

答 医師会などの団体と連携しながら、フレイル予防・介護予防の研修会の実施やフレイルサポーターの養成を行うことで、高齢者の社会参加を促す取り組みを進めていきたい。



▲令和5年度に創立150周年を迎える三国南小学校

問 坂井市学校創立周年記念事業補助制度により、記念誌発行に要する経費の2分の1以内で、100万円を限度として助成を行うことができる。

問 それらの記念事業について、本市としてどのような支援が可能か。

答 年度に記念式典の開催や記念誌の発行などを予定している。



辻 人志

※フレイル…健康と要介護の間で、加齢とともに心身の活力(筋力・認知機能・社会とのつながりなど)が低下した状態。

春江駅改修と丸岡駅名の変更を

問 JR春江駅は築70年を超えているが、改修に向けた現在の状況は。

答 令和6年春以降、速やかに工事着手ができるように準備を進めており、利用者アンケート結果を踏まえ、駅周辺整備を合わせて行う。

問 春江駅にはエレベーターの設置が必要と考えるがどうか。

答 まずは国の責任において整備するよう強く要望し、引き続き調査研究していく。

問 春江駅の東側も送迎などがしやすい駅にすべきでは。

答 駅周辺整備は関係機関と議論しており、具体的な素案などは随時、機会を捉え示していく。

問 ハピラインふくいの新駅開業時に、JR丸岡駅の名前をJR坂井駅にしては。

答 認知度向上などが期待できるが、変更には市民の気運の醸成や多額の費用が必要なため、現時点では考えていない。

災害廃棄物処理計画は

問 災害廃棄物処理計画策定に向けたタイムスケジュールは。



▲エレベーターの設置が望まれるJR春江駅



川畑 孝治

少子化対策を

問 坂井市災害廃棄物処理マニュアルを令和3年度に作成しており、令和4年度に災害廃棄物処理計画の策定に着手する。

答 坂井市災害廃棄物処理マニュアルを令和3年度に作成しており、令和4年度に災害廃棄物処理計画の策定に着手する。

問 今以上の少子化対策が必要であるが、多子世帯への対策・拡充を含めた市独自の対策は。

答 すくすく商品券事業や、高校3年生までの医療費の無料化を実施しており、今後はもう少し幅広い子育て支援策を考えていきたい。

ハザードマップを活用した本格的避難訓練の実施は

問 8月の県内豪雨被害を検証し、市内ハザードマップ上での浸水想定区域や、土砂災害特別警戒区域周辺地区において、避難行動要支援者も含めた、本格的な避難訓練などを実施する予定はあるか。

答 今後、該当地区ごとの危険災害リスクを認識しながら、要支援者の人たちの情報を区長やまちづくり協議会なども共有し、地区での防災訓練へ参加してもらうような取り組みを進めていく。



鍋嶋 邦広

問 キッチンカー事業者に対する市としての側面支援・後方支援などの考えはあるか。

答 市として、導入されたキッチンカーや移動販売車がイベントなどで活用されるよう、イベントの主催者に対する情報発信を行うとともに、導入事業者に対しても市内イベントの情報提供を行うべく予定となっている。



▲市内イベントで活躍するキッチンカー

坂井市キッチンカー等導入支援事業は

問 事業の採択を受けた事業者の活動実績や今後の活動予定はあるか。

答 現在、各事業者においてキッチンカー製作の発注段階であり、現時点での活動実績はない。今後完成次第、順次秋のイベントやスパーの店舗などでそれぞれ活動していく予定となっている。

パイプライン取水施設の損傷による被害について問う

問 8月豪雨による取水施設の被害について、その概要と原因は。

答 8月4日から嶺北地方に線状降水帯が発生し、一時間当たり80ミリから100ミリの豪雨となった。そのため、パイプラインに水を送る前にごみを取り除く除塵機3台が被災し、送水機能が停止した。九頭竜川本線の水位が想定を上回る速度で上昇し、大量の土砂やごみが流入したことが原因である。

問 農産物の被害はなかったのか。

答 取水施設の損傷が原因による被害は確認していない。

問 被害の復旧と今後の対策は。

答 国の災害復旧事業を活用し、令和5年3月の工事完了、翌4月の通水を目指している。復旧にかかる経費は国が65%、県が30%、市町が5%を負担することで調整しており、受益者への負担はない。また、大雨対応のマニユアルを策定するよう、国に対して強く要望している。



伊藤 宏実

農林水産部門の独立について問う

問 農林水産部門を産業政策部から独立させてはどうか。

答 農林水産業関連の部門を独立させることは、今後の業務の連携や効率化、職員体制なども含めて、市全体の組織体制のあり方として十分な検討が必要であると考えている。



▲水が出なかったパイプラインの給水栓

地域が行うコミュニティ活動の支援の取り組みは

問 コミュニティセンター長の、賃金体系を含む雇用形態の見直しの考えは。

答 地域の絆や連帯感が薄れ、地域が行うコミュニティ機能低下が懸念される中、コミュニティセンターを拠点とした地域づくりは重要であり、コミュニティセンター長の役割は大きいものと考えている。現センター長の意向も踏まえ、現場の混乱がないよう業務内容も含め雇用形態の見直しについて検討していく。

問 社会教育指導員による社会教育事業と地域づくりの連携は。

答 社会教育指導員の業務とまちづくり協議会の事業とのマッチングを図りながら、社会教育事業を活用したまちづくり活動ができるよう努めていく。

問 まちづくり協議会が抱える悩みや課題などを解決する方策は。

答 まちづくりカレッジを通して地域の人材を育成し、持続的な地域コミュニティを支える活動を広めていく。



岡部 恭典

春江保健センターの整備の方向性は

問 人口が増加している町の施設として、春江保健センターの改修などを、機能を集約して施設の充実を図る考えはないか。

答 坂井市公共施設個別施設計画により、令和8年度以降に保健センターの機能集約化を検討する。春江保健センターは、今後も安全に利用できるような必要な修繕を行い、維持管理していく。



▲春江保健センター

坂井市に新都市整備を

問 新都市には産業団地の造成が必要であると考えますが、県営産業団地に本市が応募しなかった理由は。

答 公募条件を満たす場所が県が求める面積を確保するには、国営かんがい排水事業の受益地となっている農用地の開発が必要であることや、売却単価が県の設定した単価を大きく超過することが想定されたため、応募を見送った。

問 並行在来線において、福井港丸岡インター連絡道路と交差する地点へ、新都市の基盤となるような新駅設置が必要であると考えますが、どうか。

答 新駅の設置については、福井県並行在来線公共交通計画の中で、利用者の増加による収支の改善効果が見込まれる駅について検討するとされており、本市内での要件を満たす候補地はないと見込まれる。



佐藤 岳之

を勘案すると、春江、丸岡の2つの駅で交通結節機能が十分確保できていること、また、新駅設置には10億円以上の費用負担が生じる見込みであることなどから、現時点では困難な事案であると考えている。



▲ 工事が進む福井港丸岡インター連絡道路(丸岡町舟寄地係)

坂井市の森林資源の活用を

問 あわら市・坂井市森林整備構想における施策のうち、「地域木材の新規需要の開拓や販路拡大による利用促進」では、具体的にどのような取り組みを計画しているのか。

答 令和9年度から具体的に検討される計画であり、それに向けた取り組みとして、令和2年8月に木材の生産、加工、利用に関わる事業者と市、県が加わり、あわら市・坂井市森林整備推進協議会を設立した。

問 木材の新たな需要喚起、地産地消、カーボンニュートラル促進のため、家庭への木質バイオマスポイラーおよびストーブ導入を補助してはどうか。

答 木質バイオマスの需要と供給、地球温暖化の観点、公共性を勘案し検討したい。

問 新たな森林資源の利活用による交流人口の増加を目指し、森林作業道を活用したマウンテンバイクのコースや遊歩道を整備してはどうか。

答 森林整備の実施期間から外れるケースがあれば、他市町の先進事例を参考に、他市町の先進事例



▲ 作業中の林業従事者(丸岡町山竹田地係)



廣瀬 陽子

例を参考に、市独自の取り組みができればと考える。

問 林業従事者を増やすため、どのような取り組みを行っているのか。

答 県で山の担い手活性化支援事業を行っており、PRを含め担い手育成に努めたい。

文化観光の戦略を

問 三國祭の国の重要無形民俗文化財・ユネスコの無形文化遺産の指定を目指す、本格的な調査スケジュールは。

答 民俗学の専門家とともに山車の順路や人の役割などの記録を目的に調査を実施した。今後10年を目標に調査を進め、まずは国の重要無形民俗文化財を目指したい。

問 坂井市文化財保存活用地域計画の地域のお宝を、どのように文化観光の戦略へ展開するのか。

答 お宝デジタル図鑑の作成など計画を基に進め、令和4年から5年の2年間で歴史的風致維持向上計画の策定を予定する中で、今後のお宝を生かした町並み整備の事業化を検討する。

地域経済好循環を目指す戦略は

問 本市の地域経済循環率が低い水準となっている要因と改善策は。

答 要因は民間消費の市外流出が多いことであり、カイモンカードなどで域内消費を向上させるとともに、観光誘客を促進することによ

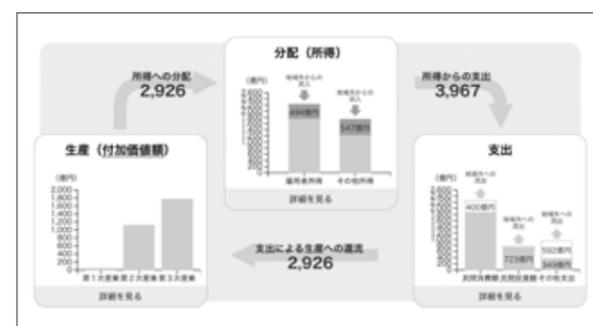


上坂 健司

り域外からの民間消費を流入させる戦略を進めていく。

問 市長が公約として掲げた農林水産リゾートの形成は。

答 農遊コンシェルジュ事業で坂井地区全体の観光、農業、漁業を含めてPRする取り組みであり、アクティビティなども充実させながら形成していく。



▲ 本市の地域経済循環率図 (地域経済分析システム (RESAS: リーラス) より引用)

教員の働き方改革は

問 本市での取り組みは。

答 市内の小中学校においては、登校時刻の繰り下げ、下校時刻の繰り上げのほか、授業間の時間短縮や清掃の回数の削減など、さまざまな工夫を行い、超過勤務の短縮を図ってきた。

これらの結果、超過勤務が月80時間を超える教職員数は、1学期の合計と比較すると、令和元年度の162人から令和4年度は25人に減少しており、割合は7.5%から1.1%となっている。

今後、外部人材の活用や校務支援システムの本格導入を進め、より一層の業務改善を図り、教職員が児童・生徒との関わりに専念できるよう支援をしていく。

市公式LINEアカウントの活用は

問 市公式LINEアカウントを使った行政文書や回覧板のデジタル化の利用開始時期、および進捗状況と今後の予定は。

答 利用開始時期については、令和5年4月を予定している。



▲ 導入を進めている電子回覧板「自治会サポ」のイメージ



林 豊夏

現在の進捗状況については、自治会で独自に運用できる電子回覧板「自治会サポ」の機能を作成している段階であり、構築が完了した後、市公式LINEアカウントと連携していく。

また、並行して令和4年10月から、規模の異なる複数の自治会での試験運用を予定している。

マイナンバーカードの普及に向けて

問 本市のマイナンバーカードの普及状況は。

答 令和4年9月4日時点の交付枚数は4万980枚で、交付率は45.55%である。

問 マイナンバーカードを取得するメリットは。

答 顔写真付きの本人確認書類としての利用、証明書コンビニ交付サービスやオンラインでの行政手続が可能になる。
また、健康保険証としての利用や新型コロナウイルス接種証明書の電子版の発行に利用できる。
医療機関で健康保険証として利用する場合には、受け付けが電子化され、正確なデータに基づく診療・薬の処方を受けられるほか、窓口での限度額以上の医療費の一時支払いが不要となり、さらに10月からは診療報酬が従来の保険証より安くなるといったメリットがある。

問 マイナンバーカードを利用した、本市独自のサービスを考えているのか。

医療機関で健康保険証として利用する場合には、受け付けが電子化され、正確なデータに基づく診療・薬の処方を受けられるほか、窓口での限度額以上の医療費の一時支払いが不要となり、さらに10月からは診療報酬が従来の保険証より安くなるといったメリットがある。



後藤 寿和

答 「来なくてもよい窓口」「書かなくてもよい窓口」の構築を検討しており、その中で、電子申請で手続を行うときや来庁して申請書を作成する際に、マイナンバーカードから氏名・住所などの情報を読み取って利用できるようなサービスが導入できないか検討しているところである。



▲本庁舎内に設けられたマイナポイント申請ブース

多様性を理解する社会に

問 誰もが坂井市で安心して暮らせるよう、パートナーシップ・ファミリーシップ制度の制定をどうするか。

答 市職員ならびに男女共同参画推進委員会を中心としたLGBTQ研修会の開催をはじめ、講演会や勉強会に積極的に参加している。制度の必要性を感じているところであり、前向きに検討する。

市民の命を守る支援を

問 防災・減災対策について、市民の意識向上や、災害の種類ごとに具体的な行動が実際にとれる方法を促すなどといった具体策は。

答 一人一人の防災行動計画であるマイタイムラインの作成を支援する。
また、区長会やまちづくり協議会に各災害を想定した避難行動に関する防災講座を開催する。
地域のリスクを踏まえた独自の防災訓練の実施を促すことにより、地域の防災意識の向上を図る。



▲住民参加の防災訓練の様子

認知症基本条例制定を



永井 純一

問 認知症基本条例を制定しては、認知症に対する理解はいまだ浸透していない現状があり、事業の検証と見直しが必要と考える。市民の認知症に対する意識啓発・向上や具体的な行動をするための施策は、介護予防や健康づくりなど、さまざまな施策と合わせて総合的に推進していく必要がある。

答 現在、条例制定は考えていないが、今後慎重に検討する。

休日部活・地域移行はできるところから

問 少子化の進展と教師の働き方改革の背景で、国は休日の部活指導を地域に移行する改革を提言したが、検討委員会と推進計画策定の進捗状況は。

答 部活動の教職員や外部人材の意識調査と、休日の活動に対する児童や保護者のニーズ調査を行い、学校と情報共有をする予定である。

今後、集まった情報を基に協議会を設置し、具体的な課題への対応について検討していく。

問 部活顧問の教員も兼職兼業の許可を得て、クラブチームなどで従事できるとなっているが、教員の働き方改革の取り組みは。

答 学校の業務改善を進め、地域移行後も教員が参画しやすいよう、教育委員会と学校が連携する。

子育てするなら坂井市・子ども条例」の制定を求める

問 県内に10代後半の少女らのための「自立援助ホーム」ができたが、法的拘束力を持つ「子ども条例」が必要では。



▲中学校での部活動の様子

問 生産者との勉強会などの実施は。

答 化学肥料を低減する実証実験などを重ねながら、勉強会を実施していく。

「みどりの食料システム戦略」市の取り組み状況は

答 市の子育て支援計画には子ども条例の内容を幅広く盛り込んでいく。



畑野麻美子

大雨の防災対策は

問 8月の大雨による市内の被害状況は。

答 道路冠水により、市内19カ所で通行止めとなり、九頭竜川堤防が小規模に崩壊した。

また、九頭竜川鳴鹿土地改良区管理の右岸用水取水口の除塵機が被災した。
住宅被害は、床下浸水4件であった。

問 下水としての雨水排水計画は。

答 本市は汚水排水と雨水排水を分ける分流式で、合併後は主に汚水排水の整備をしてきた。
雨水の排水施設は三国雨水第一ポンプ場と、九頭竜川右岸にある3カ所のポンプ、春江町の調整池があるが、これらの施設以外では道路側溝を流れ河川に至ることから、今後は県に河川改修、浚渫を強く要望していく。

問 気候変動による影響を踏まえた河川整備基本方針や河川整備計画など、危機管理の見直しが必要では。

答 国の気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会において、流域治水対策と合わせて河川整備計



▲三国雨水第1ポンプ場



三宅小百合

問 画面の見直しの必要性が示されていることから、本市としても国や県の対策を確認し、必要に応じて危機管理の見直しを検討する。

答 嶺北三国消防署前の道路が冠水したが、移転が必要ではないか。過去に何度か道路が冠水したが、消防車などの出動体制に支障はないため、移転は考えていない。

あなたの写真で、坂井市の魅力を伝えてみませんか？
議会広報の表紙写真を大募集！

発行部数約3万部、市内全世帯に配布される議会広報紙の表紙写真を募集します。発行月は、5月、8月、11月、2月です。季節感あふれる、あなたが撮影した奇跡の1枚をお待ちしています。

- 応募資格 市内在住、または在勤・在学している人
 応募期間 希望掲載月の前月第1日曜日まで
 応募要件 ・市内で撮影したもの（概ね1年以内で未発表のもの）
 ・写真は、縦長で撮影された3MB以上の画像データ（JPG、JPEG形式等）
 注意事項 ・応募者以外に被写体となっている人の承諾を必ず得てください。承諾を得ていなかった場合のクレーム・トラブルなどについては、一切の責任を負いかねます。なお、個人の所有物に関しても、同様とします。
 ・応募された写真は、無償で市議会が使用することに承諾したものとします。また、サイズ調整等のため加工を行うことがあります。
 ・選考は市議会広報編集委員会で行います。なお、審査内容についてはお答えできません。
 応募方法 ①撮影者の氏名（掲載時に使用、ペンネーム可）、②住所、③電話番号、④掲載希望月、⑤撮影年月、⑥撮影場所、⑦撮影者のコメントを記入し、写真データを添付して、メールで下記アドレスまで送付してください。
 問い合わせ 議会事務局 TEL：0776-50-3001
 MAIL：gikai.fukui.sakai@gmail.com

今号の表紙
今号の表紙はひなさんの撮影作品です。

撮影場所 三国サンセットビーチ

撮影者のコメント 夕日を眺めていると嫌な気持ちもすっきり◎



たくさんのご応募、ありがとうございました。

Check!
スマートフォンでこのバーコードを読み込むと、宛先が入った状態でメールアドレスが起動します。



● 議会を傍聴してみませんか ●

★12月定例会会期日程（予定）

11月25日(金) 10時～	本会議(行政報告・議案説明など)
12月5日(月) 10時～	本会議(代表質問)
6日(火)・7日(水) 10時～	本会議(一般質問)
9日(金) 10時～	産業建設常任委員会
12日(月) 10時～	教育民生常任委員会
13日(火) 10時～	総務常任委員会
19日(月) 10時～	本会議(委員長報告・採決など)

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承願います。

市議会議員の訃報について

広瀬潤一議員におかれましては、令和4年10月28日に74歳で逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。



議会だより第65号のお詫びと訂正について

9月14日発行の「坂井市議会だより」第65号の文中に次の誤りがありましたので、訂正してお詫びいたします。

【訂正箇所】
2ページ「政務活動費収支報告」中段の表の合計欄（創志会の金額が合計に含まれていなかったため）

	誤	正
「収入」の「政務活動費」合計	13,200,000	15,300,000
「収入」の「預金利子」合計	57	61
「収入」合計	13,200,057	15,300,061
「支出」の「調査研究費」合計	0	18,240
「支出」の「資料作成費」合計	875,001	1,015,653
「支出」の「人件費」合計	146,010	180,420
「支出」の「事務費」合計	87,120	100,980
「支出」合計	3,853,100	4,060,262
「残額」合計	9,346,957	11,239,799
「返還額」の「政務活動費」合計	9,346,900	11,239,738
「返還額」の「預金利子」合計	57	61

さかい男女共同参画ネットワークと意見交換会をしました

市議会では8月4日、昨年に引き続き、さかい男女共同参画ネットワークと意見交換会を開催しました。前田議長のあいさつ、出席者の自己紹介のあと、2班に分かれ、ネットワークの取り組みの報告を受けた後、「女性の政治参画」というテーマで意見交換を行いました。具体的な内容としては、「地域における女性の行政参加」や「女性の政治参画を阻むもの」、「男性の視点からみた男女共同参画」などについて活発な意見を交わし、まとめとしてグループ別に発表を行い、渡辺副議長による講評で締めくくりました。




決算特別委員会を設置

委員会では、予算が適正かつ効率的に執行されたか、また、今後の行財政運営においてどのような改善工夫をすべきかなどに着眼し、「令和3年度坂井市一般会計」他6会計の決算審査を行いました。

委員

上坂 健司 (委員長)	山田 秀樹 (副委員長)
廣瀬 陽子	岡部 恭典
渡辺 竜彦	田中 哲治
永井 純一	畑野麻美子
	三宅小百合
	辻 人志
	広瀬 潤一

審査日程

審査区分	月 日
設置	9月9日
所管審査	10月11日、17日、19日
意見整理	10月28日、11月2日、7日
講評	11月17日

※審査結果は次号でお知らせします。

安倍元総理の国葬についての市長の見解は

問 世論調査で6割が反対し、憲法に反するとの指摘のある国葬についての見解は。

答 憲法に反するとの指摘があり、さまざまな意見があることも承知しているが、閣議決定され、国の公式行事として開かれるものと認識している。

問 弔旗の掲揚をしないことを求めるかどうか。

答 他市町の状況を踏まえ検討したい。

旧統一教会との関係は

問 市長は旧統一教会や、その関連団体と何らかの関係があったか。

答 過去にこの団体との関係は一切ない。

起業支援の抜本的強化を

問 コロナ禍で市内の零細事業者が廃業、休業せざるを得ない実態がある。

答 地域経済を回復させるためにも、意欲的な新規創業者に対する助成金額と事業枠の抜本的拡充を。



▲中筋北浦・中筋大手を流れる磯部川の支流

問 一級河川の改修は国・県の役割だが、そこにつながる支流の整備は市の課題である。

答 支流の河川整備計画はあるが、計画はないが、パトロールや地域の通報で対応している。

問 自主避難所における駐車場の利用に向けた整備は。

答 避難所運営訓練を通じて、駐車場の活用など課題も見つかるため、地域の人と一緒に整理したい。



松本 朗

議会 を開きます



坂井市議会 令和4年12月 第6回定例会 11/25(金)~12/19(月) 開催予定

会議日程

11月25日(金) 本会議(初日)	12月 9日(金) 産業建設常任委員会
12月 5日(月) 代表質問	12月12日(月) 教育民生常任委員会
12月 6日(火) 一般質問(1日目)	12月13日(火) 総務常任委員会
12月 7日(水) 一般質問(2日目)	12月19日(月) 本会議(最終日)

※ 日程は、変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- ・日程については市議会ホームページでもご覧いただけます
- ・各議員の一般質問については後日YouTubeにて配信されます



▲議会ホームページ



▲YouTubeチャンネル

問合せ先 坂井市議会事務局 Tel. 0776-50-3001